

建設趣旨

当社では、これまで、近い将来予想される宮城県沖大規模地震災害発生時の対応を鑑み、平成20年4月に黒川郡富谷町に仙台北営業所を新設し、本社機能が停止した場合の代替施設となり得る諸設備を備えるなど、仙台圏の事業所整備および営業エリアの再構築に取り組んできました。

今般、これに加え、効率的な業務運営体制を構築する観点から、仙台東営業所(仙台市若林区)と岩沼営業所(岩沼市中央)を統合した仙台南営業所(名取市飯野坂)を設置し、新たに社屋を建設したものであります。

建物特徴

新社屋建設の設計にあたっては、低炭素化時代に向けた新エネルギー・省エネルギー設備(災害時対応型太陽光発電設備、地中熱利用設備)を導入しております。

1. 災害時対応型太陽光発電設備(出力10kW)

災害などにより停電が発生した場合、太陽電池+蓄電池により、特定の重要負荷(電話交換機、パソコン類)に電力供給可能とするもので、系統側に停電が発生すると自動的に太陽電池により、電源を供給するよう自立運転に切替えられる。また、天候不良などにより供給量が不足した場合には蓄電池から安定した電源を供給できる設備。

2. 地中熱利用設備

所長室と応接室に地中熱利用による冷暖房システムを導入。年間を通じて安定した地中熱を利用するもので、空気熱源利用ヒートポンプに比べ、寒冷地・積雪地では有効なシステムとなっている。さらに、この設備は断水時・非常時には井戸水の利用も可能としている。

建設概要

建設場所：名取市飯野坂字土城堀98-1

敷地面積：7,718.47㎡

延べ面積：事務所棟S造(耐震)、倉庫棟(耐震) 合計2,394.29㎡

階数：地上2階

スケジュール

竣工引渡：平成21年11月30日(月)

営業開始：平成21年12月14日(月)

仙台南営業所の営業エリア

仙台市若林区、太白区、宮城野区の一部、名取市、岩沼市、亘理町、山元町、川崎町の一部

人員数

81名(旧仙台東営業所は71名、旧岩沼営業所は11名が在籍、今回の営業所統合により、両営業所員81名が仙台南営業所へ、1名が宮城支社へ異動となっている。)